令和7年度

自己点検評価報告書

岡山自動車大学校

岡山自動車大学校　令和7年度　自己点検評価

評価項目の達成及び取組状況　　結果は、基準を満たすかどうかではなく、基準を満たしているかを3段階で表示

3:基準を満たしており、特筆すべき取組を行っている　　2:概ね基準を満たしている　　1:基準を満たしておらず改善が必要

大項目	小項目	評価の基準	自己点検評価結果	エビデンス等
項目1教育理念・目的・目標	1 教育理念、目的及び目標の設定等	教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしていること。	2	学校案内、HP、生活の心得

【評価結果の分析】小項目1について　　自律創生・信念貫徹・共存共栄を校訓としておりスローガン・育成人材像共に教室に掲示してある。
企業からの評価も高い。

【今後の改善方策】

大項目	小項目	評価の基準	自己点検評価結果	エビデンス等
項目 2 教育課程 教育の実施 学修成果	1 教育課程の編成と授業科目	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成した上で、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置していること。	3	学則、生活の心得、シラバス、整備士養成施設指定基準
	2 教育の実施	1. 授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、基準に基づき成績評価を行っていること。 2. 企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等（以下「実習・演習等」という）の授業を行っていること。教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位時間または単位数の総授業時数に占める割合を具体的に設定していること。【職業実践専門課程】	3	生活の心得、シラバス、整備士養成施設指定基準、職業実践専門課程認定要件
	3 単位・卒業認定	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針（資格・免許等を含む修得させる職業能力を含む）を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしていること。	3	学則、生活の心得、整備士養成施設指定基準
	4 学修成果目標の達成状況	1. 卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得（資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得含む）についての目標を定め、その目標が達成できていること。 2. 学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できていること。	2	生活の心得、整備士養成施設指定基準

【評価結果の分析】小項目1について　　自動車整備士養成施設（第1種）の指定基準に基づいて、教育課程編成・実施方針を作成し、体系的に編成した上で、系統性等に配慮した配置となっている。

小項目2について　　職業実践専門課程の機関要件に基づいて、授業科目に応じた講義や実習等が組まれている。また企業等との連携した実習（講師派遣や教材提供）も年数回実施している。

小項目3について　　自動車整備士養成施設（第1種）の指定基準に基づき、学校の養成する人材を実現するために必要な卒業認定方針を定め、方針に基づき卒業認定を行っている。

小項目4について　　自動車整備士国家試験合格 100%、就職内定率 100%を毎年の目標に掲げ、教職員が一丸となって学生指導にあたっている。

資質能力の修得についての目標や学生が望む進路の実現に関する目標を定め、概ねその目標が達成されている。

【今後の改善方策】

大項目	小項目	評価の基準	自己点検評価結果	エビデンス等
項目3 学生の受入れ、学生支援	1 学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理	1. 入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、合否を決定していること。 2. 学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っていること。	3	学則、募集要項
	2 学生生活に関する支援	1. カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること。 2. 留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っていること。 3. 学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用していること。 4. 学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	2	生活の心得 就職ガイダンス要項

【評価結果の分析】小項目1について　入学者の受け入れ方針、入学選考基準等を定め、説明会等で明示しており、入学者選考も公正に実施合否を決定している。

小項目2について　学校保健安全法に基づく対応や学生の経済的支援、キャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、説明会等で周知している。

【今後の改善方策】

大項目	小項目	評価の基準	自己点検評価結果	エビデンス等
項目4 教育実施組織・教員	1 教員の配置、募集、採用	教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等（教員の採用基準等）を整備し、適正に運用していること。	3	時間割、整備士養成施設指定基準
	2 教員の組織編制等	学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めていること。	3	校務分掌
	3 教員の資質の向上	1. 学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っているか。特に職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っていること。 【職業実践専門課程】 2. 教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っていること。 【職業実践専門課程】	3	教員研修報告書等

【評価結果の分析】小項目 1 について　整備士養成施設指定基準に基づき、教員としての資格を有する者を規定人数以上配置している。

小項目 2 について　授業担当としての仕事だけでなく、校務（教務課、学生指導課、進路課、広報）分担を行い、学生が入学から卒業までの充実した学生生活が送れるように、組織編成を行っている。

小項目 3 について　企業主催の教員対象の技術セミナー・全国自動車大学校整備専門学校主催教員研修、専修学校協会主催の教員研修会に必要に応じて参加させている。

【今後の改善方策】

大項目	小項目	評価の基準	自己点検評価結果	エビデンス等
項目5 教育環境	1 教育環境の整備	1. 教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えていること。 2. 学生の学習支援のための施設(自習室等)を整備していること。また、学生の休憩、食事のためのスペースを確保していること。	3	生活の心得、整備士養成施設指定基準
	2 安全対策 防災組織	1. 学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること。	2	防災計画

【評価結果の分析】
小項目1について　学生ホールの設置と学生の要望に応じて自習室等を解放している。
小項目2について　同法人おかやま山陽高校の防災訓練に参加している。

【今後の改善方策】

大項目	小項目	評価の基準	自己点検評価結果	エビデンス等
項目6 教育活動の基盤と改善・向上の取組	1 中期事業計画と財務基盤	当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること。	3	HP 情報公開財務表
	2 学校運営	学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること(職業教育に関するマネジメント(教育の企画・設計・運営等)における責任体制を含む。)。	3	各期職員会議資料
	3 学校評価の実施と改善活動	1. 学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用していること。特に職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催していること。【注)職業実践専門課程】 2. 学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること。 3. 学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っていること。	3	学校関係者評価委員会議事録、教育課程編成委員会議事録
	4 社会からの理解と情報の公表	1. 当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること。 2. 教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得るよう取組んでいること。	3	HP・SNS

【評価結果の分析】
小項目1について　定員を年度により割ることもあるが、概ね計画通りに学生募集が出来ている。
小項目 2 について　毎朝全教員で職員会議を実施している。また各期ごとの職員会議、教務課会議等を実施し情報共有・意思疎通に努めている。
小項目 3 について　職業実践専門課程の機関要件である学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会において企業関係の委員との意見交換を行い教育環境の充実、育成する人材についての目標設定を行っている。HPへの情報公開も適切に行っている。
小項目 4 について　HPにおいては、情報公開を定期的に行っている。SNSへの配信により充実した教育機関であることを社会全体に発信している。

【今後の改善方策】